

廻堰大溜池

(まわりぜきおおためいけ)



廻堰大溜池と岩木山



鶴の舞橋(三連太鼓橋)

ため池の概要

□ため池の所在地

青森県北津軽郡鶴田町

□ため池の特徴

廻堰大溜池は、壮大な岩木山の姿を映すさまが美しく、「津軽富士見湖」の愛称があります。樹齢150年以上の青森ヒバを用いた「鶴の舞橋」(全長300m)とともに、四季折々の美しさを湖面に映す景色は、一幅の絵のようです。

また、池の周囲は11kmあり、特に堤は延長4.2kmと日本一の長さを誇ります。

この池は、1660年、津軽藩主津軽信政公によって、西津軽の新田開発の用水源として築造されました。

築造以後、自然災害により堤防が決壊した際も、関係者のたゆまぬ努力によって修復され、今も西津軽の農業地帯400haを潤す貴重な水源となっています。

また、県の廻堰鳥獣保護区に指定され、豊かな自然環境が守られた生物の宝庫となっており、また白鳥やガン・カモ類が飛来する重要な場所ともなっています。

関連情報

青森県鶴田町「観光」ホームページ

http://www.net.pref.aomori.jp/tsuruta/kankou/kankou_kankou.htm